

平成29年度

後期学校評価 アンケート



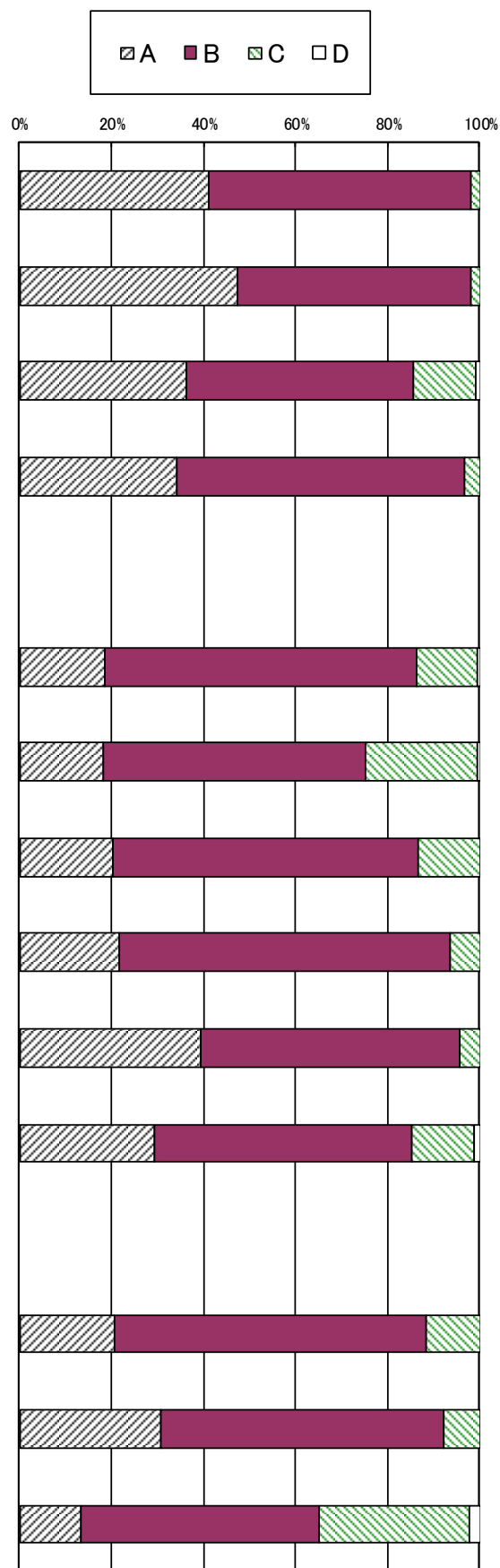
京都市立嵐山東小学校

H29後期学校評価アンケート(保護者)

上の数値後期 , (下の数値前期)	実現度			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
学校の教育方針や教育活動が学校だより・学年だより, ホームページなどを通して伝わっている。	41.3% (43.3%)	56.8% (56.0%)	1.9% (0.7%)	0.0% (0.0%)
教職員は熱意をもって教育活動に意欲的に取り組んでいる。	47.2% (44.0%)	50.8% (54.4%)	1.9% (1.7%)	0.0% (0.0%)
教職員に気軽に相談できる。	36.2% (34.6%)	49.2% (54.4%)	13.6% (9.7%)	1.0% (1.3%)
学習環境は整っている。	34.3% (30.9%)	62.5% (65.8%)	2.9% (3.4%)	0.3% (0.0%)
意欲的に学習に取り組み, 学習したことを理解している。	18.4% (17.1%)	68.0% (68.1%)	12.9% (14.1%)	0.6% (0.7%)
自ら進んであいさつをすることができる。	18.3% (18.1%)	56.9% (58.7%)	24.1% (22.1%)	0.6% (1.0%)
話を聞く姿勢が育ってきている。	20.3% (13.4%)	66.2% (71.1%)	13.2% (15.4%)	0.3% (0.0%)
きまりを守って生活している。	21.5% (21.2%)	72.0% (70.0%)	6.4% (8.8%)	0.0% (0.0%)
よい友だち関係を築いて楽しく過ごしている。	39.5% (31.5%)	55.9% (65.1%)	4.5% (3.4%)	0.0% (0.0%)
「早寝・早起き・朝ごはん」など基本的な生活習慣ができている。	29.3% (28.5%)	55.9% (55.0%)	13.5% (14.8%)	1.3% (1.7%)
子どもと会話する時間を大切にしている。	20.6% (20.5%)	67.8% (69.8%)	11.6% (9.7%)	0.0% (0.0%)
学校から配られるお知らせのプリントなどは必ず見ている。	30.9% (30.2%)	61.4% (65.8%)	7.4% (3.7%)	0.3% (0.3%)
参観懇談会や PTA 活動に積極的に参加している。	13.5% (15.8%)	51.4% (56.9%)	32.8% (25.9%)	2.3% (1.3%)

学校アンケート(保護者による評価) 平成30年2月実施

学校に対して	A	B	C	D	
①学校の教育方針や教育活動が学校だより・学年だよりなどを通して伝わっている。	128	176	6	0	①
②教職員は熱意をもって教育活動に取り組んでいる。	146	157	6	0	②
③教職員に気軽にいろいろな相談ができる。	112	152	42	3	③
④学習環境は整っている。	106	193	9	1	④
子どもたちを見て	A	B	C	D	
⑤意欲的に学習に取り組み学習したことを理解している。	57	210	40	2	⑤
⑥自ら進んであいさつをすることができる。	57	177	75	2	⑥
⑦話を聞く姿勢が育ってきている。	63	206	41	1	⑦
⑧きまりを守って生活している。	67	224	20	0	⑧
⑨よい友だち関係を築いて楽しく過ごしている。	123	174	14	0	⑨
⑩「早寝・早起き・朝ごはん」など基本的な生活習慣ができています	91	174	42	4	⑩
子ども達の姿について	A	B	C	D	
⑪子どもと会話する時間を大切にしている。	64	211	36	0	⑪
⑫学校から配られるお知らせのプリントなどは必ず見ている。	96	191	23	1	⑫
⑬参観懇談会やP T A活動に積極的に参加している。	42	160	102	7	⑬

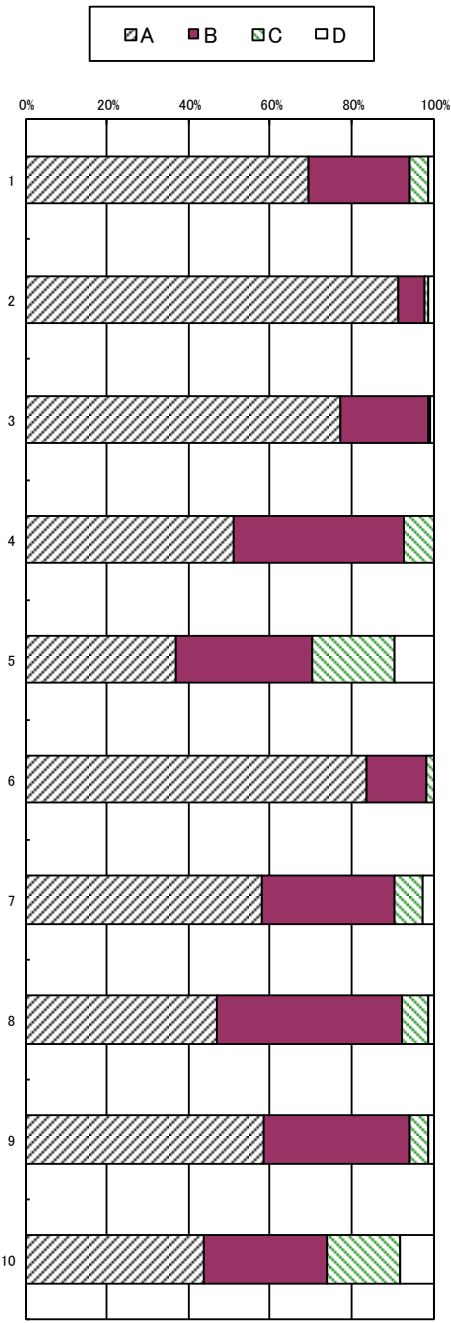


H29後期学校生活アンケート(児童)

上の数値後期 ， (下の数値前期)	適合度			
	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
学校は楽しいですか。	69. 5% (68. 5%)	24. 8% (27. 1%)	4. 4% (3. 7%)	1. 3% (0. 6%)
なかよしの友だちはいますか。	91. 4% (91. 6%)	6. 3% (6. 9%)	1. 3% (1. 2%)	1. 0% (0. 3%)
友だちは大切にしていますか。	77. 2% (82. 9%)	21. 5% (15. 3%)	0. 6% (1. 6%)	0. 6% (0. 3%)
勉強(授業)はわかりますか。	51. 0% (57. 5%)	42. 0% (36. 6%)	6. 7% (5. 0%)	0. 3% (0. 9%)
授業中進んで発表していますか。	37. 0% (42. 9%)	33. 2% (31. 2%)	20. 3% (20. 2%)	9. 5% (5. 7%)
宿題はしていますか。	83. 5% (84. 4%)	14. 9% (13. 7%)	1. 3% (1. 6%)	0. 3% (0. 3%)
自分から「おはよう」とあいさつしていますか。	58. 2% (62. 6%)	32. 6% (30. 5%)	6. 6% (5. 3%)	2. 5% (1. 6%)
学校のきまりややくそくはまもれていますか。	46. 8% (54. 7%)	45. 5% (39. 1%)	6. 7% (5. 0%)	1. 0% (1. 3%)
先生や友だちの話をしっかり聞けていますか。	58. 5% (58. 4%)	35. 8% (35. 9%)	4. 8% (4. 1%)	1. 0% (1. 6%)
家に帰ってから学校であったことをよく話しますか。	43. 9% (40. 8%)	29. 9% (34. 0%)	18. 2% (15. 6%)	8. 0% (9. 7%)

学校アンケート(児童による評価) 平成30年2月実施

子ども達の姿について	A	B	C	D
①学校は楽しいですか。	219	78	14	4
②なかよしの友だちはいますか。	288	20	4	3
③友だちを大切にしていますか。	244	68	2	2
④勉強（授業）はわかりますか。	160	132	21	1
⑤授業中進んで発表していますか。	117	105	64	30
⑥宿題はしていますか。	264	47	4	1
⑦自分から「おはよう」とあいさつしていますか。	184	103	21	8
⑧学校のきまりや約束は守れていますか。	147	143	21	3
⑨先生や友だちの話をよく聞けていますか。	183	112	15	3
⑩家に帰って学校であったことをよく話しますか。	138	94	57	25



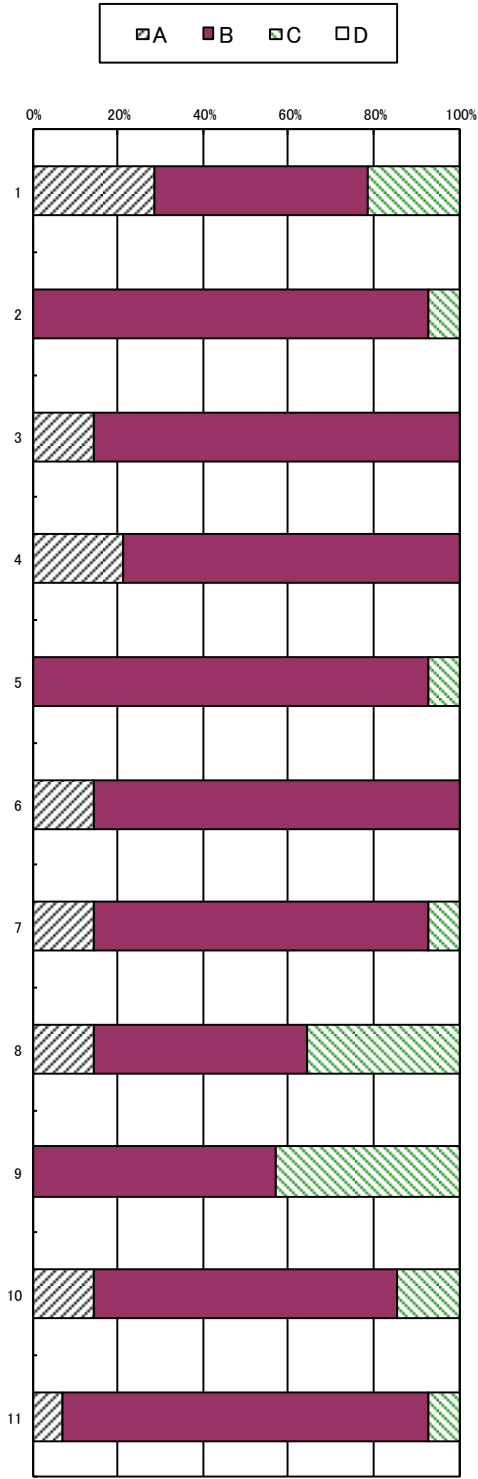
好きな教科 ランキング	1年	2年	3年	4年	5年	6年
第1位	図工(41)	図工・体育(33)	体育(35)	体育(25)	体育(39)	体育(25)
第2位	体育(38)		理科(30)	理科・図工(15)	理科(32)	図工(19)
第3位	音楽(28)	国語(24)	図工(26)		音楽(22)	音楽(16)
第4位	生活・英語(27)	生活(15)	英語(23)	算数(12)	算数・社会(20)	社会(12)
第5位		音楽(14)	算数(13)	音楽(11)		算数(8)

H29後期自己評価アンケート(教職員)

上の数値後期 , (下の数値前期)	実現度			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
学校の教育方針や教育活動が学校だより・学年だよりやホームページを通して伝えている。	28. 6% (7. 1%)	50. 0% (85. 7%)	21. 4% (7. 1%)	0. 0% (0. 0%)
子どもにとってわかりやすい授業を進めている。	0. 0% (6. 7%)	92. 9% (80. 0%)	7. 1% (13. 3%)	0. 0% (0. 0%)
子ども・保護者からの相談に適切に対応している。	14. 3% (13. 3%)	85. 7% (86. 7%)	0. 0% (0. 0%)	0. 0% (0. 0%)
学習しやすい環境を常に整えている。	21. 4% (13. 3%)	78. 6% (80. 0%)	0. 0% (6. 7%)	0. 0% (0. 0%)
子どものよいところを見つけほめている。	0. 0% (6. 7%)	92. 9% (93. 3%)	7. 1% (0. 0%)	0. 0% (0. 0%)
一人一人の人権を大切にした教育活動をすすめている。	14. 3% (20. 0%)	85. 7% (80. 0%)	0. 0% (0. 0%)	0. 0% (0. 0%)
子どもは意欲的に学習に取り組んでいる。	14. 3% (14. 3%)	78. 6% (78. 6%)	7. 1% (7. 1%)	0. 0% (0. 0%)
子どもは自ら進んであいさつをするようになってきている。	14. 3% (6. 7%)	50. 0% (66. 7%)	35. 7% (26. 7%)	0. 0% (0. 0%)
子どもは話を聞く姿勢が育ってきている。	0. 0% (20. 0%)	57. 1% (53. 3%)	42. 9% (26. 7%)	0. 0% (0. 0%)
子どもは学校のきまりや約束を守って生活している。	14. 3% (6. 7%)	71. 4% (73. 3%)	14. 3% (20. 0%)	0. 0% (0. 0%)
子どもは良い友だち関係を築いて楽しく過ごしている。	7. 1% (6. 7%)	85. 7% (80. 0%)	7. 1% (13. 3%)	0. 0% (0. 0%)

学校アンケート(教職員による評価) 平成30年2月実施

教職員の自己評価	A	B	C	D
①学校の教育方針や教育活動が学校だより・学年だより, ホームページ などを通して伝わっている。	4	7	3	0
②子どもにとってわかりやすい授業を進めている。	0	13	1	0
③子ども・保護者からの相談に適切に対応している。	2	12	0	0
④学習しやすい環境を常に整えている。	3	11	0	0
⑤子どものよいところを見つけほめている。	0	13	1	0
⑥一人一人の人権を大切にした教育活動を進めている。	2	12	0	0
⑦子どもは意欲的に学習に取り組んでいる。	2	11	1	0
⑧子どもは自ら進んであいさつをするようになってきている。	2	7	5	0
⑨子どもは話を聞く姿勢が育ってきている。	0	8	6	0
⑩子どもは学校のきまりや約束を守って生活している。	2	10	2	0
⑪子どもはよい友だち関係を築いて楽しく過ごしている。	1	12	1	0



H29後期学校評価アンケート分析

後期学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。児童数 327 名に対して、保護者の回答数が 311 件（回収率 95.1%）だった結果から、保護者の皆様の学校に対する関心の高さと期待の大きさが伺えます。

今回のアンケートと前期のアンケートを比較検討した結果、保護者、児童、教職員とも肯定的評価・否定的評価に大きな変動はありませんでした。したがって、前期に評価して頂いた学校の落ち着いた雰囲気や充実した安定感を維持継続できているように感じます。

児童と保護者・教職員のアンケートの中で意識の差が大きかった項目に「自ら進んで挨拶できる」があります。児童は「よくできている」と回答している割合は 58.2%と高い評価を表示していますが、保護者は 18.3%，教職員は 14.3%といずれも児童と比べてずいぶん低い値を示しています。この結果は児童の挨拶に対する自己評価が甘く保護者・教職員の挨拶に対する見方が厳しくなっていることを示しています。さらに、保護者の中でも挨拶に対する見方は肯定派・否定派と意見が分かれていて、

- ・「顔見知りの人にも挨拶が恥ずかしい年頃でしょうが、嵐東の子ども達はしっかりできる子が多いと思います。挨拶をすることで人の輪が広がっていろいろな経験のできるきっかけが大きくなって人生にプラスされることがいっぱい増えてほしいなと思います。」
- ・「先日学校へ行くと、子ども達から挨拶をしてくれました。自分の子ではありませんでしたがとても嬉しかったです。学校の雰囲気がとても良く、良い子ども達が育っているなあと感じました。」
- ・「先日用事で学校へ行った時に、廊下ですれ違った子ども達が「おはようございます！」と挨拶をしてくれました。その後も自ら挨拶をしてくれる子、こちらから挨拶すれば返してくれる子がほとんどで、「人に会えば挨拶する」という習慣が身についているんだと思いました。」

- ・「挨拶運動の時などこちらから挨拶しないとしてくれない事も多く、少し寂しいなと思う事もあります。自分の子も出来ていないので身近から伝えていければ良いなと思います。」
- ・「自分から挨拶をする子がとても少ないと思います。こちらから挨拶しても声が小さく、下を向きながら言う子が多いです。もう少し元気よく挨拶できるようになってほしいと思います。」
- ・「もう少し元気にご近所の方や見守り隊の方に挨拶できるようになってほしいと思います。」

というように挨拶に対する評価は二極化の方向にあると言えます。この現実をしっかりと見つめ、学校・地域・家庭が一体となって「自ら進んで挨拶のできる子ども」を育てていくことが大切だと思います。

挨拶は人と人とをつなぐ心の架橋です。それは人権教育の第一歩につながります。本校では毎月「きずなの日」を設定し、様々な観点から人権について学習する機会を設けています。今年度の啓発参観懇談会では、身近な人権問題（障害を理由とする差別に関する問題）について共に考え、理解を深めました。本校の人権スローガン「つながろう身近な人と私から」の具現化に向けて、日常の様子をもとに意見を出し合い話し合うことができました。教職員アンケートでも「一人一人の人権を大切にした教育活動をすすめている」「よく出来ている」「大体出来ている」の実現度は100%と教育実践の中で最も大切にしている教育の柱の一つです。今年度は「きずなの日」に取り組んだ授業の感想を人権主任がまとめて保護者に配布しました。保護者の自由記述の中にも、

- ・「障害のある人との関わり方の授業参観、とても良かったなあと思いました。1～6年生の『きずな』に載っていた子ども達の文を読んで、一人一人が人としての大切な事を学び感じられている事に感動しました。私達大人も本当に子ども達の思いから学ばされることがたくさんあると思えた日でした。」

という意見を頂いています。

また、人権教育の取組の一環として、今年度新たにPTA本部と連携して、『花でつなげる あらひがスマイルプロジェクト』に取り組みました。社会福祉協議会の配食サービスの日に、花プロキッズの子ども達が、地域のいろいろなところに花を届ける取組で、花とともに笑顔と温かい心を届けることができました。

もう一つ教育実践の中で大切にしている教育の柱として、道徳教育があります。本校の研究教科として1年間研究授業に取り組み、今年度前期と後期の個人懇談会の時に子ども達の様子を評価してお知らせしました。保護者の自由記述の中で、

- ・「6月と1月の参観日に道徳の授業をみる事ができたのですが、改めて、道徳教育の大切さを実感させられました。子ども達が普段、何気なくしている行動を再確認する意味でも、「道徳教育の重点化」はとても素敵な事だと思います。道徳の授業では、子ども達一人一人いろいろな考えや思いがあると思います。それを先生が共感しながら上手に聞き出してくださっている授業を見て、心が温まりました。気持ちを相手に伝えたり、言葉にしたりするのはとても大切なことだと思うので、これからも自分の思ったことを発言したり、書いたりする『道徳教育』を続けていってほしいと思います。」
- ・「道徳の授業については難しい側面もあるなと感じます。参観で見させて頂くことがありますが、個人個人の道徳的な価値の高まりをどのように見出して評価するのか、先生方大変さを感じます。文章教材だと主人公の心理的な推移の読み取りになってしまう事も多く、同じような場面が子どもの実生活で起きた時には、その時の感情に任せて処理してしまっているようにも感じます。冷静になった時に子どもに振り返りできるような声かけをしたり絵本の読み聞かせを通してまた繋がるように配慮したり、道徳については親も学校と一緒に働きかけていくことも大切なのではないかなと思っています。」

という意見を頂きました。

平成30年度からは「特別の教科 道徳」として教科書を使って授業をしたり、通知票で道徳の評価をお知らせしたりするなど道徳教育の新しい扉が開かれる年になります。基本的な生活習慣，望ましい人間関係，規範意識や生命尊重の心などの人間形成にとって，家庭の果たす役割には大きなものがあります。学校の道徳科の授業で話し合われたことや子ども達が学んだことや気づいたことなどについて，各ご家庭でも話し合っていただければ幸いです。

保護者のアンケートで「よくできている」の実現度が最も高いのは「教職員は熱意をもって教育活動に意欲的に取り組んでいる」の項目で47.2%。そして，自由記述で最も多かった意見は，外部講師を招いての授業に関する記述でした。

- ・「まだまだ子ども達は自ら体験したり経験したりすることから何かを学べるきっかけに出会う機会が少ない時です。大人達が様々な事に出会えるきっかけを作る事で将来の目標や夢ができたり，その子一人一人の世界が広がれば，もっと素敵な出会いや経験ができると思います。」
- ・「外部講師を招いての授業は，普段では体験できない事ばかりで，こういう機会を与えてくださった事にとっても感謝しています。子どもがキラキラした目で，その日の出来事を話している姿を見て，小さい時に貴重な経験をさせてもらっているのだと実感しています。」
- ・「外部講師を招いての授業では，普段なかなか体験する事の出来ない事を見聞きでき，子どもも家に帰ってきて，楽しそうに話をしてくれます。子どもの世界や関心を広げるという意味でも，これからもたくさんの体験をさせて頂けたらと思っています。」
- ・「外部講師を招いての授業（ぶどうの食育・日本舞踊教室）を受けた後は，家でイキイキと楽しそうに話してくれます。新しいことにチャレンジしたり経験する事の大切さを感じています。」
- ・「ぶどう食育，しょうゆの出前授業などは，普段家ではなかなか教える事の出来ない専門家からのお話なのでとても貴重な体験だと思います。いろいろな知識を取り込み，自分の将来や夢へつなげる第一歩にしてもらいたいと思います。」
- ・「年が明けてからだけでも，たくさんの本物と出会い，挑戦する事ができて心より感謝しております。と同時にチャレンジする力，仲間とのコミュニケーション，達成感を全身で受け止めて，確実に次へのステップアップにつなげているなあと感じています。」
- ・「外部講師を招いての授業がとても充実していて，親から見ても子ども達が羨ましくなるぐらいのたくさんの体験をさせて頂いていることを本当にありがたく思っています。子どもの素直な心で感じ，受け止めた経験はきっと大人になっても忘れる事はないと思います。このような体験を礎にして将来の夢，生きる力，生き抜く力を身につけていってほしいと思います。」

- ・「1年間の様々な活動，大会の参加を通して子どもは貴重な体験をさせてもらったと思います。何かにひたすら頑張り，結果は負けても悔し涙を流す。大人の私ですらこのような経験は極限られた数だけです。次の何かに繋がっていく大きな力を身につけさせて頂いたと感じています。」
- ・「4年生で体験させて頂いた車椅子バスケットボール教室では，選手の体験を教えて頂き，どのような状況で現在に至ったのかを知ることができたようです。あきらめないことや友人，周りのサポートしてくださる方々の大切さを学ぶことができ，印象に残っている子どもの様子を見て，とても貴重な体験をさせて頂いたと思っております。」
- ・「森育では，小倉山の整備で間伐や落ち葉拾いをしました。自分が住んでいる地域を良くしようとする活動に参加でき，良い経験ができたと思います。」
- ・「NHK合唱コンクールを毎年の行事として取り組んでほしいです。ロームシアターの合唱はすばらしかったです。」
- ・「1月28日に行われた合唱コンクールに向けて，休み時間や放課後に練習してきました。その中で意見が対立する事や相手に対する不満などいろいろあったようですが，そういったことも含めていろいろと学ぶことができ，結果として賞を頂く事もでき，とても良い取組だったと思います。」
- ・「6年生になり，みんなで協力し合って取り組む行事が多かったように思います。組体操，学芸会，Nコン，合唱コンクール・・・そのためクラスメイトとも今まで以上に仲良く，お互い意見が言い合える仲間になってきているように感じます。」

学校運営協議会の意見交流の中で，「外部講師による特別授業」は充実しており，保護者にも好評だが，教育課程上の授業時数を確保できているか，子ども達の普段の学習はきちんとできているのか心配な面もある。といったご意見を頂きました。

その心配を払拭する一つのデータとして，3・4年生で実施されているプレジョイントプログラムと5・6年生で実施されているジョイントプログラムの結果があります。どの学年もほとんど全教科（国・社・算・理）で右肩上がりの成績を残すことができました。学習規律を確立し，子ども達の意識改革が高まった結果，基礎学力の定着にも好影響を及ぼすようになってきたと言えるのではないのでしょうか。

とはいえ，一人一人が抱えている課題が全て解決しているわけではありません。これまで以上に教職員と保護者・地域が連携を深め，強い信頼関係を築き，教職員一丸となって『一人一人を大切にした教育』を実践できるように日々努力と精進を積み重ねていきたいと考えています。今後ともご支援・ご協力よろしくお願いします。